

香取遺産

おかめさんは 文化元年生まれ！

vol.182



▲八日市場町の龍の彫り物（天保11年 鈴木多門作）

◆本川岸町の天鉦女命（文化元年 鼠屋五兵衛作）

「おかめさん」の愛称で知られる本川岸町の天鉦女命の大人形。町内の皆さんの調査によって、御頭内部に「文化元年申子五月吉日 江戸人形町 鼠屋五兵衛 福」（「申」は「甲」の誤字）の墨書銘が確認されました。これは、銘が確認できるものでは佐原最古のものです。文化元年は西暦で1804年です。おかめさんは今年で217歳になりました。さらに、おかめさんの大人形は視線が水平方向であることや、御頭が大変重いことなどが分かっています。このことから、もともと高い位置に飾ることを想定していなかったと考えられます。

また、八日市場町や佐原古文書学習会の皆さんの一連の史料調査では、新しい事実が明らかにされました。その一端をご紹介します。

浜宿町は、安永8（1779）年に造った関羽の人形を再興させるため、文政5（1822）年、江戸の原舟月に関羽・周倉・馬の飾り物を依頼しており、同じ年に下仲町は屋台（当時の表記、以下同じ）を造っていることが分かりました。さらに、天保11（1840）年には、八日市場町が漆塗総彫物の屋台を新しく造り、彫物師は府馬の安産大神の彫り物で知られる古内村（旧山田町）の鈴木多門の手によることが明らかとなっています（多門の彫り物は、大天井の龍、側面の花鳥、下高欄の獅子）。

このように、地元有志

の皆さんの努力によって、新発見の史料が発掘され、地域の祭礼文化史が解き明かされています。

固生涯学習課

☎1224



▲「おかめさん」御頭内部の墨書（提供：本川岸町）